

# 相模原市公共交通ニュース

～みんなで使おう公共交通！～

第10号／平成29年3月

相模原市公共交通整備促進協議会は、相模原市・市議会・自治会連合会・市内各種団体で構成し、昭和44年の設立以来、市内の鉄道やバス交通の輸送力増強の促進を目的に、鉄道及びバス事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

## 駅のバリアフリー化・駅舎改修が進んでいます

### ■東林間駅 -小田急江ノ島線-

協議会で要望していた東林間駅西口エレベーターの整備については、平成27年度から小田急電鉄と市により進められていた工事が完了し、平成29年1月21日から使用開始されました。



### ■下溝駅・相武台下駅 -JR相模線-

JR東日本による、駅舎建替えにより、平成28年7月には相武台下駅の新駅舎が、8月には下溝駅の新駅舎が完成しました。

これに伴い、両駅には多機能トイレが整備されたほか、下溝駅にはスロープが設置され、協議会で要望していた同駅のバリアフリー化が実現されました。

相武台下駅については、引き続き、エレベーター設置等によるバリアフリー化を要望していきます。



下溝駅新駅舎



相武台下駅新駅舎

### ■相模湖駅 -JR中央本線-

相模湖が有する豊かな環境への玄関口となる駅を目指し、平成28年の夏からJR東日本により、駅舎のリニューアル工事が行われ、平成29年1月に完成しました。

駅舎の壁や梁には、津久井産の木材が使用されるとともに、相模湖周辺の観光等の情報発信を行う地域連携スペースや登山者向けの靴洗いや更衣室などが設けられています。

また、協議会で要望していた待合室についても、平成29年3月に、2番・3番ホームで使用が開始されました。



新駅舎内



地域連携スペース



ホーム待合室

## 相模線の利用促進に取り組んでいます

### ■「相模線フラワートレイン」運行

相模線と沿線地域の活性化を目的に、神奈川県、相模線沿線市町・経済団体とJR東日本横浜支社を構成員に、平成28年3月に組織された相模線沿線活性化協議会により、平成29年3月18日から約7か月間相模線沿線でみられる花の名所やイベント等を紹介するラッピング列車が運行されます。



3月18日の出発イベントの様子

### ■リーフレット「てつどうで行こう！」作成

市では、鉄道への関心を高めるとともに、相模線の利用促進を図るため、子ども向けのリーフレット「てつどうで行こう！」を作成し、市内の小学校等で配布しました。漫画で相模線を紹介する他、相模線の駅をまわるスタンプラリーが実施され、多くの子どもたちの参加がありました。

### ■「相模線沿線ハイキング」実施

神奈川県、相模線沿線市町・経済団体により例年実施されている「相模線沿線ハイキング」が、平成28年度は10月に海老名市を会場に実施されました。平成29年度は座間市を会場に実施される予定です。

◀協議会では、相模線の利便性向上に向けて、複線化等輸送力増強を引き続き要望していきます。▶

## 小田急多摩線延伸に向けて取り組んでいます

平成28年4月に、交通政策審議会(国土交通省)から、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申され、この中で、唐木田駅から上溝駅までの延伸が、プロジェクトの一つとして位置づけられました。東京圏の鉄道整備は、同審議会の答申に基づき進められており、延伸の実現に向けた大きな一歩となりました。

答申では、都心へのアクセス性が向上するなど、延伸の意義が認められる一方、収支採算性の課題などが指摘されています。また、上溝駅から田名地区、愛川・厚木方面への延伸についても、上溝駅までの整備の進捗を踏まえつつ検討することとされています。

◀協議会では、延伸の早期実現に向けて、引き続き関係機関へ要望していきます。▶



## 「新しい交通システム導入基本計画」が策定されました

市では、定時性（時刻表どおりの運行）や速達性（移動時間の短縮）を備え、市南部地域の拠点間の連携を強化する「幹線快速バスシステム（BRT）」の導入に向けて「新しい交通システム導入基本計画」を策定しました。

導入ルートは、「相模大野駅～麻溝台地区～原当麻駅」を結ぶ区間とし、拡幅整備計画のある県道52号を最大限に活用するルートとしました。

今後、市では、この計画に基づき、BRTの早期実現に向けて取り組んでいきます。



## 大野北地区コミュニティバスの平日便が本格運行します！

～みんなの力で継続を！～

平成26年2月に実証運行を開始した「大野北地区コミュニティバス」は、3年間の利用実績に基づき、平成29年3月をもって土休日便の運行を終了し、4月から平日便を本格運行することとなりました。

今後も運行を続けるためには、1年間の利用実績が運行継続条件を満たす必要があります。新たな出発を迎えた「大野北地区コミュニティバス」をぜひご利用ください。



## 要望活動を実施しました



協議会では、公共交通の利便性向上に向けて、平成28年10月から12月にかけて、各交通事業者へ要望活動を行いました。

### 要望活動の様子



神奈川中央交通株式会社



京王電鉄株式会社

### 主な要望内容

- JR東日本横浜支社  
「横浜線の輸送力増強及び相模線の複線化等」
- JR東日本八王子支社  
「中央本線の輸送力増強及び横浜線との相互乗入れ」
- 小田急電鉄  
「小田原線の輸送力増強及び多摩線の市内への延伸」
- 京王電鉄  
「相模原線の輸送力増強」
- 神奈川中央交通  
「バス交通の輸送力増強」

### これまでの要望活動の主な成果 要望活動を通じ、次のような成果を得ています。

#### 【平成27年度】

- ・相模線の終電時刻の繰下げ及び夕通勤時間帯の運転本数増加
- ・横浜線の夕通勤時間帯の根岸線への乗入れ本数増加 など

#### 【平成28年度】

- ・東林間駅西口のバリアフリー化 ・下溝駅のバリアフリー化
- ・相模湖駅ホームへの待合室設置 など

## 都市交通施設整備基金にご協力を

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、平成20年度から基金の積立を行っており、市民の皆さんや企業などからの寄附を受け付けています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

発行/相模原市公共交通整備促進協議会 編集/（事務局）交通政策課

☎042-769-8249〔直通〕

E-mail : toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp